



お勉強、いろいろなことに一生懸命な子どもたち！（フィリピン孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

礎の石孤児院の働きのため、皆様の御支援、サポート、本当にありがとうございます。5月末に、私共孤児院の総会が行われます。今年は理事の再選出の年度ですが、このニュースレターが皆さんのお手元に届くころには、総会は終了し、理事の選出を含め、本年度の活動方針も承認されていることでしょう。

総会では、昨年度の活動結果も報告されますが、その報告を聞く毎に、皆さんの御支援、御協力のありがたさを思い起こされ、本当に感謝にたえません。

総会の内容は次号のニュースレターでも少し触れたいと思いますが、ただ、これから先の活動を思うと、働きのすべては皆さんの御力添えあればこそです。

どうか、これからも御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為、皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。はじめに、事務的な諸手続の為に、また今年は5年ぶりに日本へ一時帰国の為に経済的な必要がありご支援のお願いをしておりましたところ、4月末頃までにこれらすべての必要が満たされました。ご支援下さいました皆様に、心からの感謝を申し上げます。現在、政府から活動



楽しそうにダンスを踊る子どもたち！

の為にすでに受けている認可をさらに更新する必要があり手続中です。すべての手続が済み次第、安心して一時帰国出来る様にと願っています。子どもたちは、高校2年生を筆頭に学んでいます。これからさらに高校3年への進級と、その後の進路の為に準備が必要になって来ています。特に大学進学を希望する子どもたちの為、皆様からの継続したご支援を頂ければと願っています。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様のご支援を心から感謝いたします。

1か月の夏休みを、子どもたち一人一人、楽しい時を過ごしました。畑や家の中の手伝いをして家族を助めました。5月は新学年スタートの直前の月でもあります。そこで今一度、新学年に向けてご支援のお願いをさせていただきます。新学期は、34名の子どもたちが礎の石就学プログラムを通して入学、進級する予定です。幼稚園から高校まで(4歳から17歳)の子どもたちのために、学校登録費・授業料・



新学期から学校に行く子どもたち！

学用品費・靴・上履き・制服などが必要です。また地域によっては制服としてジーンズまたはカーキ色の長ズボン、無地の白のポロシャツまたはTシャツが必要です。さらに「子ども一人に対して96.30ドル(約1万円)が必要です。恵まれない環境にいる子どもたちに教育を受ける機会を与えるため、彼らの夢をかなえるために、どうぞ皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に、ザンビア孤児院一同、心から感謝申し上げます。

昨年の10月に、出産のため、日本に帰国して以降、紅葉の秋、雪の冬、そして桜の春という季節の移ろいを楽しみつつ、時の流れの速さに驚かされています。生まれた子も順調に成長していて、その兄達と共に残りわずかに残された日本での日々を、



河原で遊ぶ桜子さんのお子さんの
光る君と望君！

思う存分楽しんでいるようです。

先日、とても嬉しいニュースが届きました。7人のこどもたちの学費の必要が全て与えられたというのです。その直前には、ステイブンが悪性のマラリアにかかり、重体となってしまうなどハラハラさせられる事態もありましたが、幸い回復し、そしてすぐにこのようなニュースを頂いたことで、二重の喜びが与えられました。子どもたちが貧困から抜け出し、自分の人生に与えられた使命を全うしていくために、このような支援が与えられ、大いに励まされております。今後とも、皆様と共にある孤児院として歩んでいくつもりです。どうぞ宜しくお願い致します。

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様のご支援とご協力をいつもありがとうございます。南半球ブラジルは朝晩だ



サンパウロ空港での松本スタッフ！

いぶ冷えるようになってきて、たいていは半袖で足りるところ、長袖が必要になってきました。しばらく悪かった体調もだんだん良くなってきています。日本語を教えに行っている方のお店にも顔を出すことができました。事情を話すと、お気遣いくださり、私の家までたくさんのフルーツを差し入れしてくださいました！とても感動しました。うれしかったです。早く回復してさらに活動できるよう努めていきたいと思えます。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>